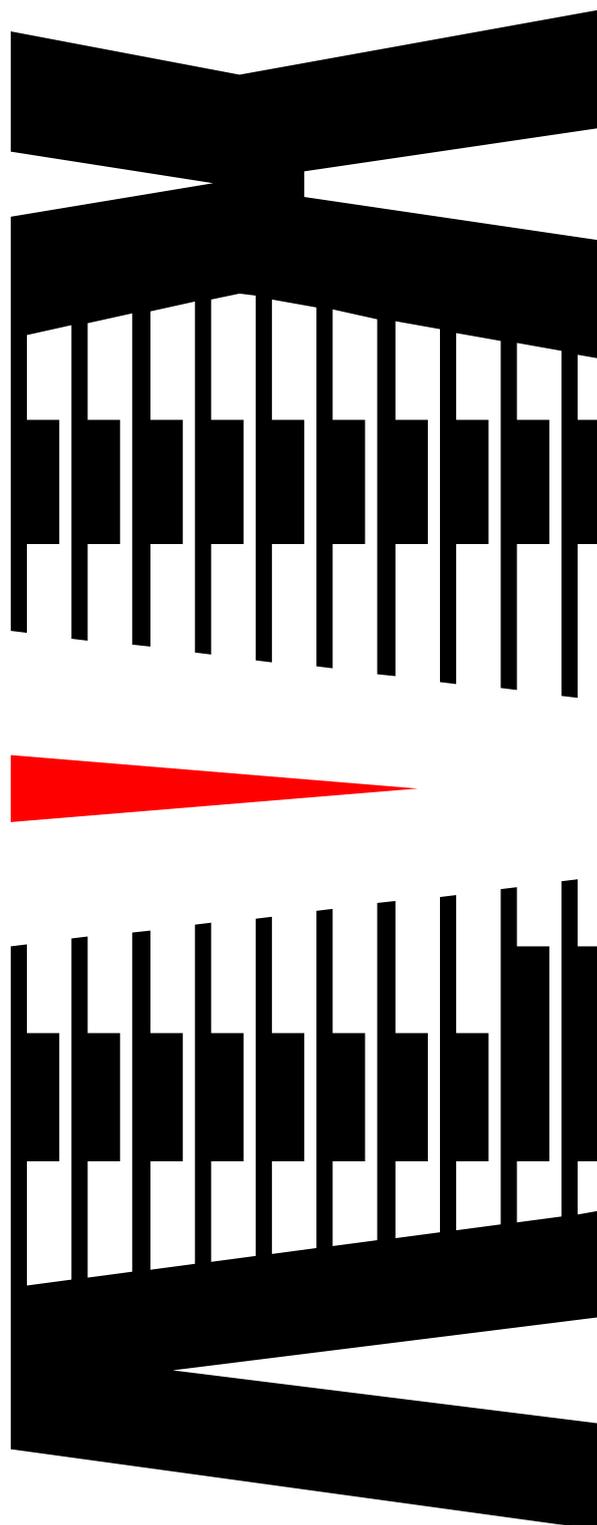


“アルビクス” マルチビューワ

MV-530

取扱説明書

Ver.00



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、
安全の為に指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

	ページ
1. 主な機能と特徴.....	3
2. 仕様.....	4
3. 各部の名称と機能.....	7
3-1 入力ユニット.....	7
3-2 出力ユニット.....	10
4. 接続方法.....	15
5. 設定について.....	16
5-1 子画面設定.....	16
5-1-1 表示 ON/OFF.....	16
5-1-2 Input No.....	17
5-1-3 サイズ.....	18
5-1-4 表示位置.....	18
5-1-5 枠モード.....	19
5-1-6 チャンネル名称・ロゴ 表示 ON/OFF.....	20
5-1-7 チャンネル名称・ロゴ 表示位置.....	21
5-1-8 音声バー表示位置.....	23
5-1-9 枠色・ブリンク.....	27
5-1-10 BASE色・ブリンク.....	29
5-1-11 サブインジケータ.....	30
5-1-12 アスペクト設定.....	31
5-1-13 サブアスペクト設定.....	32
5-2 チャンネル名称・ロゴ設定.....	34
5-3 時計設定.....	35
5-3-1 アナログ時計.....	35
5-3-2 デジタル時計.....	36
5-4 コメントウィンドウ設定.....	37
5-4-1 設定項目.....	41
5-5 背景設定.....	42
5-5-1 表示 ON/OFF.....	42
5-6 レイアウト設定.....	43

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としたりしてはいけません。（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 発煙、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。（火災や感電の原因となります。）

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特徴

- ◇アルピクス・マルチビューワは、複数のSDI入力信号を、PDPや液晶モニタなどの高解像度モニタに分割表示することができます。
- ◇最大実装時、120ch入力可能で、レイアウトが全く異なる分割画面を8系統出力します。
例えば、16分割画面を8系統出力することができます。
入力の120chは、8系統出力のどこにでも出力することができます。
また、1つの入力を分配し、複数の出力モニタに表示する事も可能です。
運用時に、入力chを入れ替える事も可能です。
- ◇入力は、3G/HD/SD-SDIで、3G/HD/SD（自動判別）で、混在可能です。
※3G-SDIは(Level-A 1080p 59.94)となります。
- ◇エンベデッドオーディオに対応し、最大8chのオーディオレベルバーを合成することができ、目視による音声の確認ができます。
- ◇LTC入力が可能でアナログ時計/デジタル時計表示を同時に表示可能です。
- ◇レイアウトは出力毎に8個持つ事が可能です。
- ◇各入力信号にチャンネル名称を表示することができます。
チャンネル名称は、シフトJISコード（第一水準）の文字が表示可能です。
- ◇分割表示の他に背景画像表示やコメントウィンドウ表示が有り、背景に静止画を登録・表示したり、コメントウィンドウで文字やタリーなどを自由に表示することが可能です。
チャンネル名称は、シフトJISコード（第一水準）の文字が表示可能です。
- ◇分割表示の他に背景画像表示やコメントウィンドウ表示が有り、背景に静止画を登録・表示したり、コメントウィンドウで文字やタリーなどを自由に表示することが可能です。
- ◇外部制御はLANインターフェイスを装備し、設定はTCP/IPで行います。
機器状態は、SNMPトラップで通知し、設定はTCP/IPで行います。
- ◇電源はリダンダントでフロントメンテナンス可能です。

2. 仕様

<入カユニット>

筐体：TU-701		
外部制御	OUT基板に外部制御端子あり	
メンテナンス	前面よりSCALER基板・電源ユニットの交換が可能 背面よりファンユニットの交換が可能	
電源ユニット： PU-701	リダンダント、ホットスワップ	
	AC100~250V (50/60Hz)	
外形寸法	W436×H304×D668mm 7Uラックマウントサイズ (突起含まず)	
最大 基板実装枚数	REAR基板	5枚
	SCALER基板	16枚
	OUT基板	1枚
最大入力信号数	120系統 (REAR基板：5枚×24系統)	
最大出力信号数	8系統 (OUT基板：1枚×8系統)	
重 量	約30kg	
消費電力/皮相電力	約 820W/821VA	
使用周囲温度	5~40℃	

REAR基板：IN-REAR-24		
入力信号	入力信号形式	3G-SDI (SMPTE 424M 1080p) Level-A
		HD-SDI (SMPTE 292M 1080i)
		SD-SDI (SMPTE 259M 480i)
	入力接栓	BNCコネクタ
	入力信号数	24系統
	入力音声信号	エンベデッドオーディオ 8ch対応
活線挿抜	不可	

SCALER基板：IN-SCALER-8	
信号形式	3G/HD/SD-SDI
処理数	8系統 8子画面の変換を行います。
機能	オーディオバー表示
	IP変換
	リサイズ
活線挿抜	不可

OUT基板：IN-OUT-8		
出力信号	出力信号形式	3G-SDI Level A 1080p 出力ユニットと接続します。
	入力接栓	BNCコネクタ
	出力信号数	8系統
外部制御	制御方式	TCP/IP
	コネクタ	RJ-45
活線挿抜	不可	

<出力ユニット>

筐体：TU-501		
外部制御	CNT基板に外部制御端子あり	
メンテナンス	前面よりSCALER基板・電源ユニットの交換が可能 背面よりファンユニットの交換が可能	
電源ユニット： PU-501	リダンダント、ホットスワップ	
	AC100~250V (50/60Hz)	
外形寸法	W436×H216×D452mm 5Uラックマウントサイズ (突起含まず)	
最大 基板実装枚数	DVI基板	8枚
	CNT基板	1枚
最大入力信号数	8系統 (DVI基板：8枚×1系統)	
最大出力信号数	DVI/RGB 出力信号	8系統 (DVI基板：8枚×1系統)
	SDI 出力信号	16系統 (DVI基板：8枚×2系統)
	VBS 出力信号	8系統 (DVI基板：8枚×1系統)
重 量	約19kg	
消費電力/皮相電力	約 420W/425VA	
使用周囲温度	5~40℃	

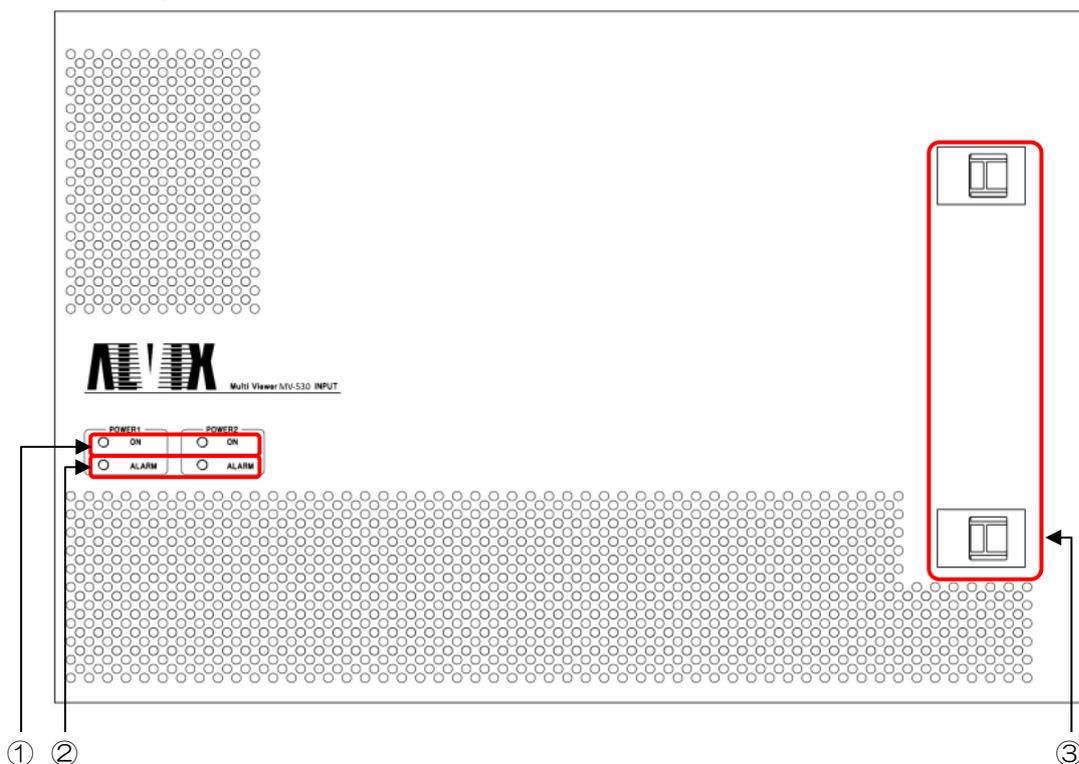
DVI基板：OUT-DVI		
入力信号	入力信号形式	3G-SDI Level A 1080p 入力ユニットより入力
	入力接栓	BNCコネクタ
	入力信号数	1系統
DVI/RGB 出力信号	出力信号形式	アナログRGB+デジタル DVI出力信号：DVI 最大 1980x1080P ※ケーブル長の制限があります。 RGB出力信号：アナログRGBHV 最大 1980x1080P
	出力接栓	DVIコネクタ
	出力信号数	1系統
SDI 出力信号	出力信号形式	HD-SDI 59.94Hz 3G-SDI 59.94Hz (将来対応予定)
	出力接栓	BNCコネクタ
	出力信号数	2系統
VBS 出力信号	出力信号形式	コンポジットアナログVIDEO信号
	出力接栓	BNCコネクタ
	出力信号数	1系統
機能	チャンネル名称、ロゴ、背景合成、コメント表示、インジケータ表示	
	LTC又は内部時計表示	
	出力モニタ用リサイズ	
	SDI・ビデオ出力	
活線挿抜	不可	

CNT基板：OUT-CNT		
外部制御	制御方式	TCP/IP SNMPトラップ出力対応
	コネクタ	RJ-45
入力ユニット 制御	制御方式	TCP/IP
	コネクタ	RJ-45
LTC入力	LTC入力信号	SMPTE 12M 2Vp-p 終端2kΩ
	コネクタ	BNCコネクタ
活線挿抜	可	

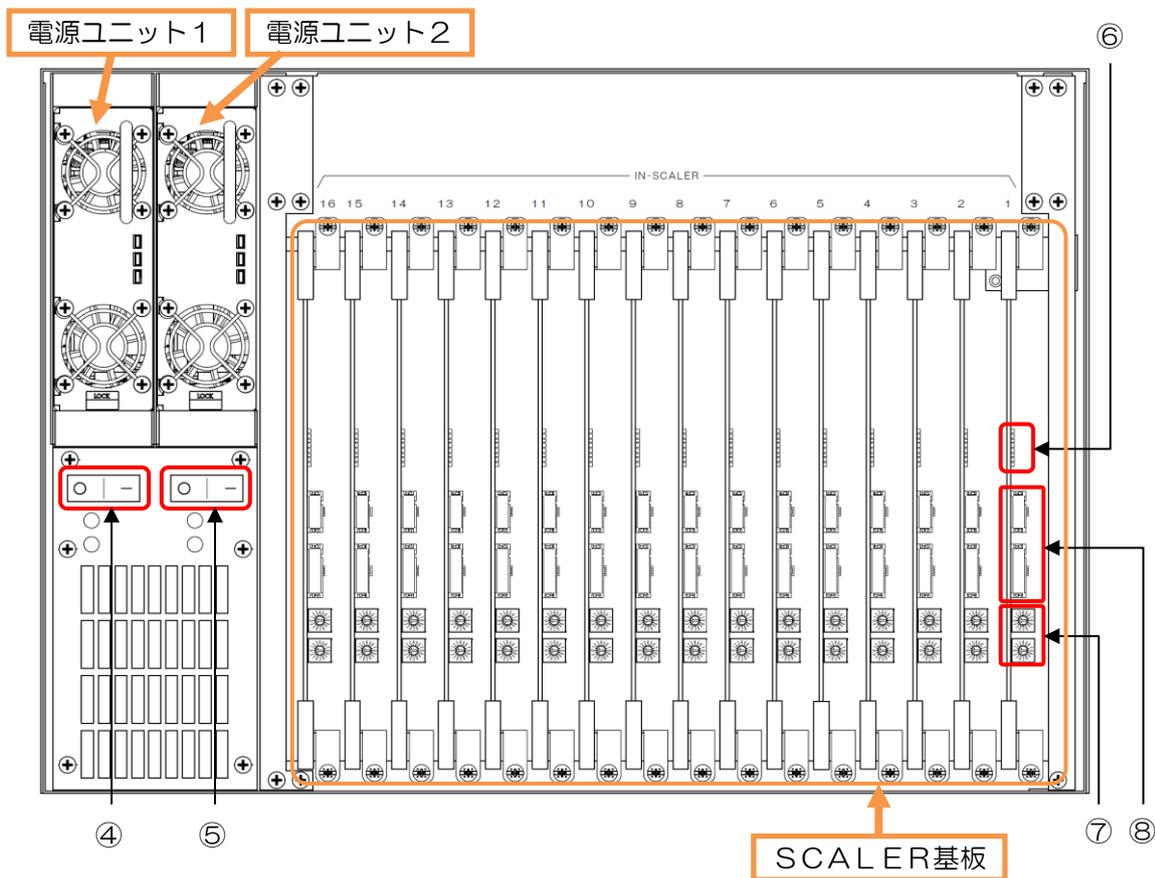
3. 各部の名称と機能

3-1 入力ユニット

<フロント>

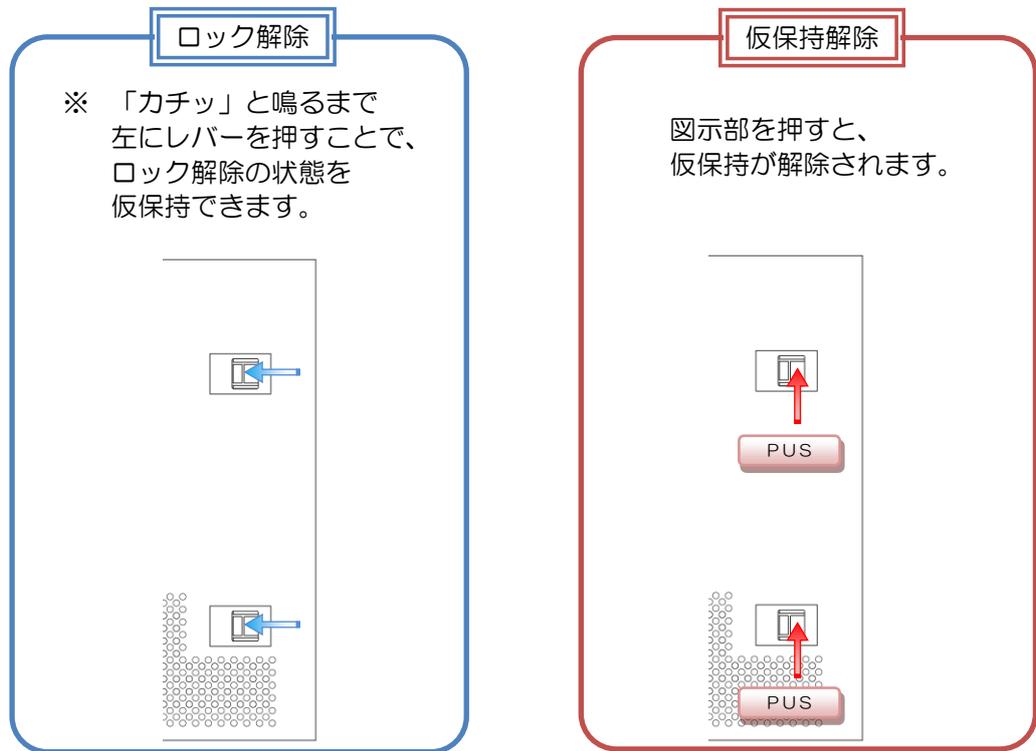


<フロント開口時>



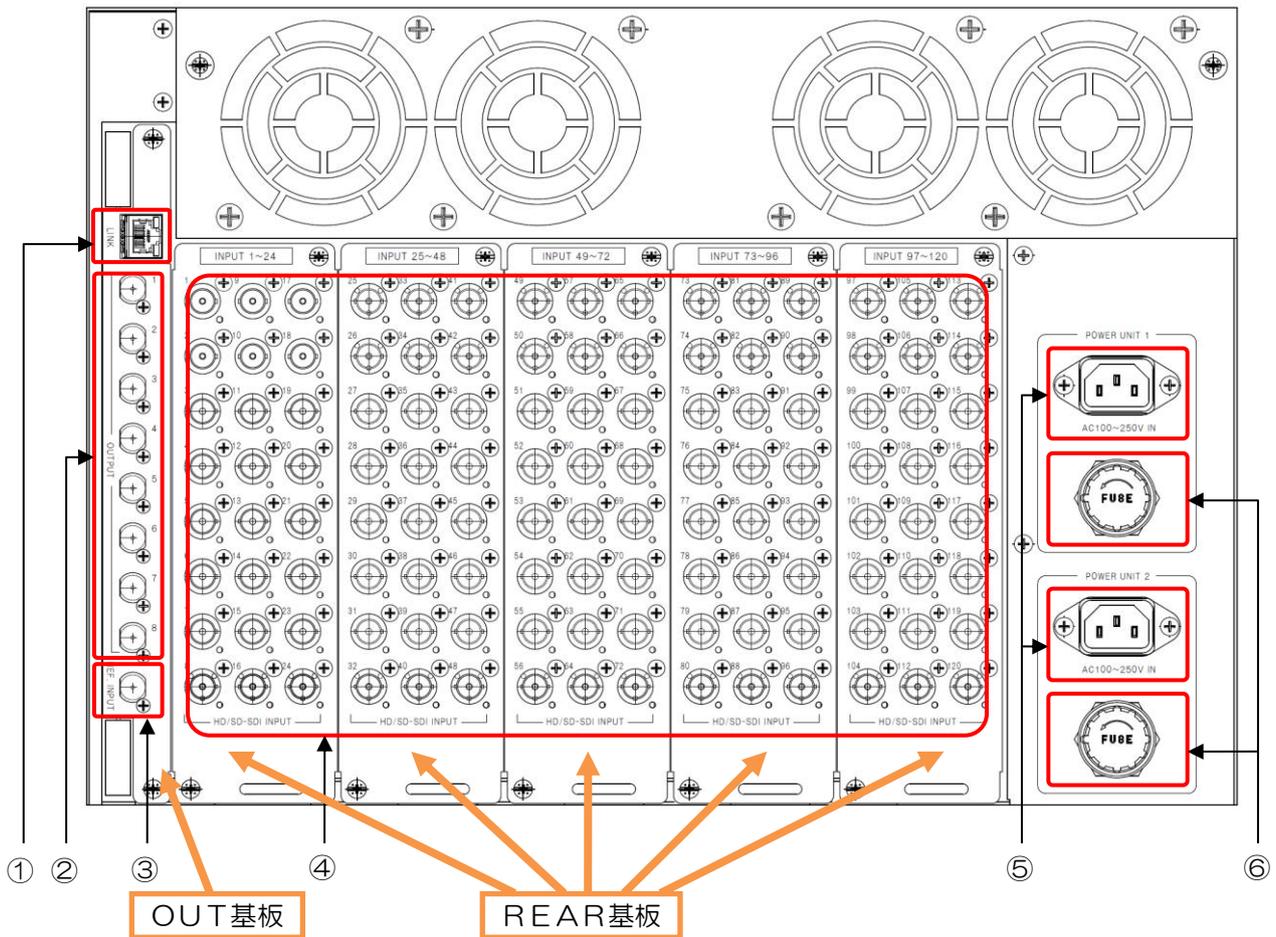
※ ⑥、⑦、⑧は、SCALER基板1～16共通

- ① 電源ユニットパワーインジケータ
電源ユニットがONの時LEDが点灯します。
- ② 電源ユニットアラームインジケータ
電源ユニットに異常が発生した時、LEDが点灯します。
以下の異常を検知します。
 - ・片側電源ユニットOFF
 - ・電源ユニット温度異常
 - ・電源ユニットファン異常
 - ・各保護回路動作時
 - ・電源電圧異常
 - ・DC出力電圧異常
 ※異常検知時には、出力が遮断されることがあります。
- ③ フロント開閉ラッチ
フロントの開閉を行います。



- ④ 電源ユニット1 パワースイッチ
電源ユニット1の電源をON/OFFします。
- ⑤ 電源ユニット2 パワースイッチ
電源ユニット2の電源をON/OFFします。
- ⑥ スケーラ基板インジケータ
入力の状態を表します。消灯：無信号、点滅：SD、点灯：HD
上から1～8の状態を表します。
- ⑦ スケーラ基板ロータリースイッチ
使用しません。通常は”0”, ”0” に設定されています。
- ⑧ メンテナンスコネクタ
使用しません。

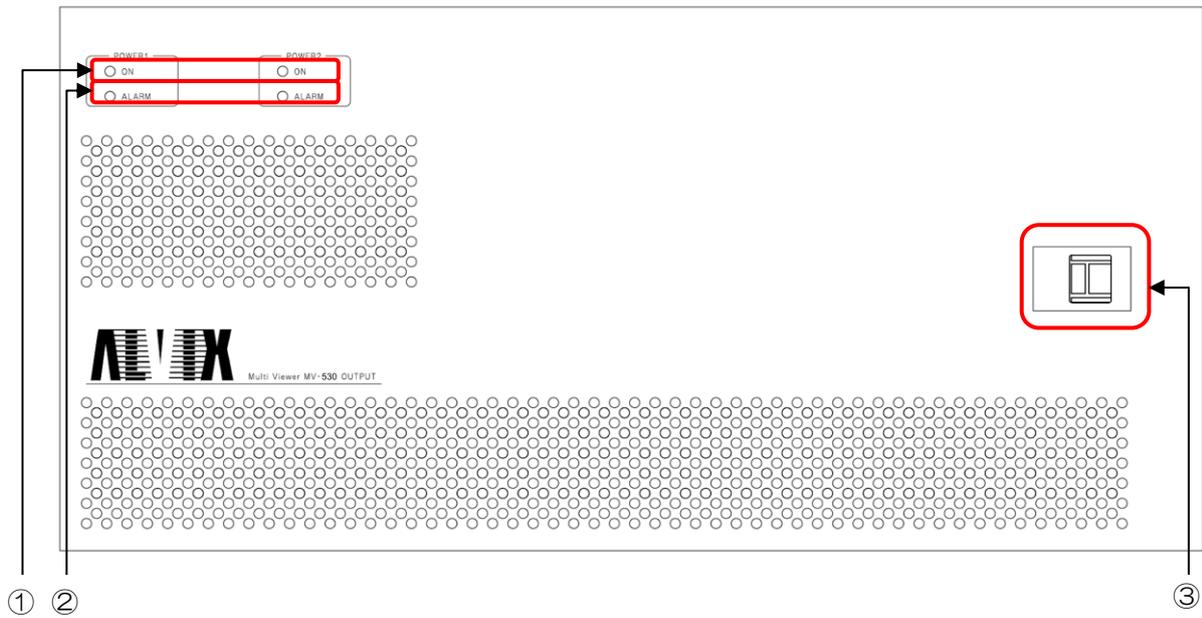
<リア>



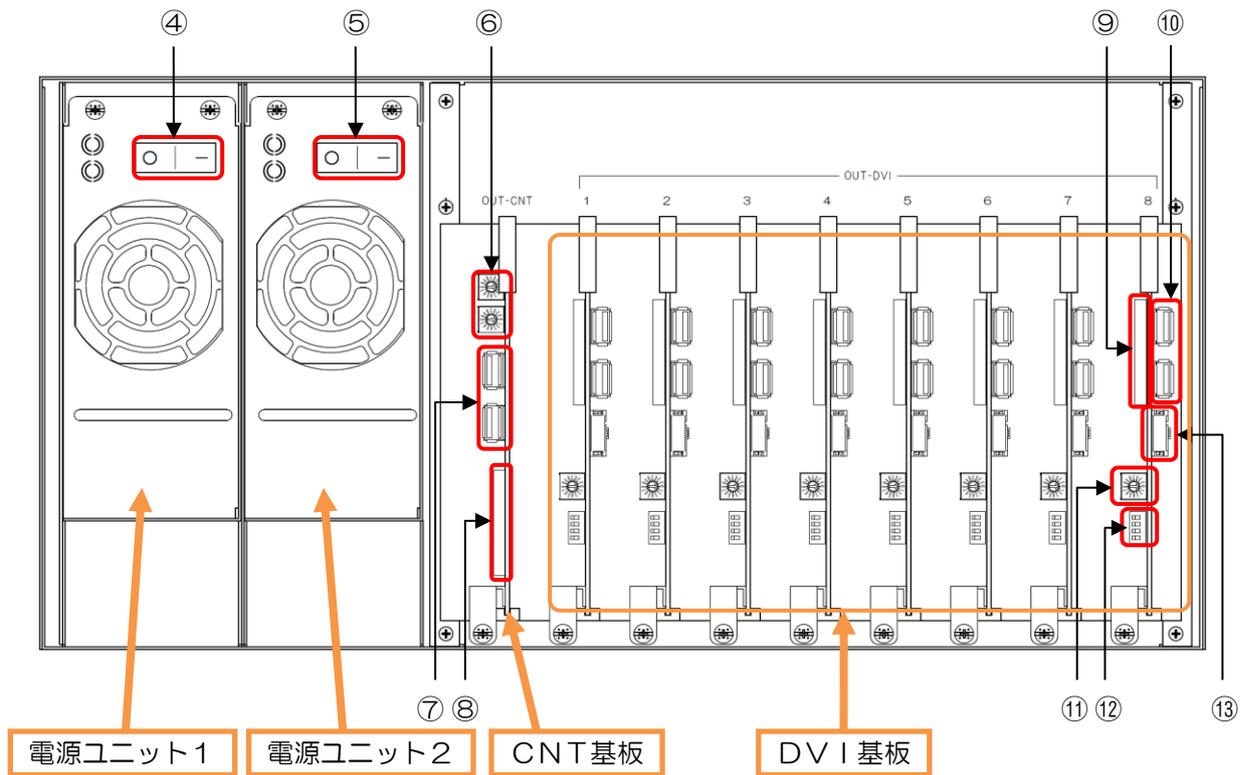
- ① LINK
外部制御用LANインターフェイスコネクタです。
出力ユニットのLINKと接続します。
- ② 信号出力
8系統の3G-SDI信号を出力します。
出力1~8のそれぞれを、出力ユニットの信号入力1~8に入力します。
- ③ リファレンス入力
使用しません。接続しないでください。
- ④ 信号入力
3G/H D/SD-SDI映像信号を入力します。
REAR基板5枚実装で、最大120ch入力が可能です。
- ⑤ AC入力
本機の電源入力(3Pインレット)です。
電源コードは電源ユニット1, 2とも接続して下さい。
- ⑥ ヒューズホルダ
ヒューズ交換時以外、触らないでください。

3-2 出力ユニット

<フロント>



<フロント開口時>



※ ⑨、⑩、⑪、⑫、⑬は、DVI基板1～8共通

- ① 電源ユニットパワーインジケータ
電源ユニットがONの時LEDが点灯します。
- ② 電源ユニットアラームインジケータ
電源ユニットに異常が発生した時、LEDが点灯します。
以下の異常を検知します。
 - ・片側電源ユニットOFF
 - ・電源ユニット温度異常
 - ・電源ユニットファン異常
 - ・各保護回路動作時
 - ・電源電圧異常
 - ・DC出力電圧異常※異常検知時には、出力が遮断されることがあります。
- ③ フロント開閉ラッチ
フロントの開閉を行います。
開閉方法の詳細については、入力ユニットを参照して下さい。
- ④ 電源ユニット1 パワースイッチ
電源ユニット1の電源をON/OFFします。
- ⑤ 電源ユニット2 パワースイッチ
電源ユニット2の電源をON/OFFします。
- ⑥ CNT基板ロータリースイッチ
使用しません。通常は”0”, ”0” に設定されています。
- ⑦ CNT基板メンテナンスUSBコネクタ
使用しません。
- ⑧ CNT基板コンパクトフラッシュ
メンテナンス時以外、触らないでください。
- ⑨ DVI基板コンパクトフラッシュ
メンテナンス時以外、触らないでください。
- ⑩ DVI基板メンテナンスUSBコネクタ
使用しません。
- ⑪ DVI基板ロータリースイッチ
DVI及びアナログRGBの出力解像度を設定します。
※詳細については表1を参照してください。
- ⑫ DVI基板ディップスイッチ
SDI出力信号の設定（表2参照）及び、
VBS出力の表示方式の設定（表3参照）及び、
HD-SDI出力の表示方式の設定（表4参照）を行います。
- ⑬ DVI基板メンテナンスコネクタ
使用しません。

表1. DVI / アナログRGB 出力解像度 (有効画像領域)

DVI 基板 ロータリー スイッチ	名称	H Disp (dot)	V Disp (line)	レイアウト 縦横比	備考
0	1080p	1920	1080	16:9	
1	WSXGA+ ¹	1680	945	16:9	
2	WXGA	1280	720	16:9	
3	UXGA	1600	1200	4:3	
4	SXGA+	1400	1050	4:3	
5	SXGA	1280	960	4:3	
6	XGA	1024	768	4:3	
B	UXGA	1600	1200	16:9	レターBOX
C	SXGA+	1400	1050	16:9	レターBOX
D	SXGA	1280	960	16:9	レターBOX
E	XGA	1024	768	16:9	レターBOX

表2. SDI 出力信号設定

DVI 基板ディップスイッチ				SDI 出力信号
4 (HDサブアスペクト)	3 (サブアスペクト)	2	1	
Don't care (表4参照)	Don't care (表3参照)	OFF	OFF	HD-SDI

表3. アナログVBSの表示方式

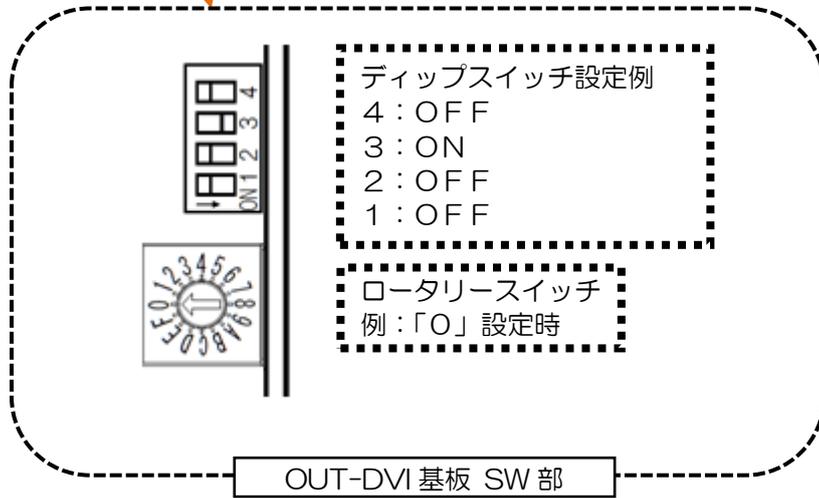
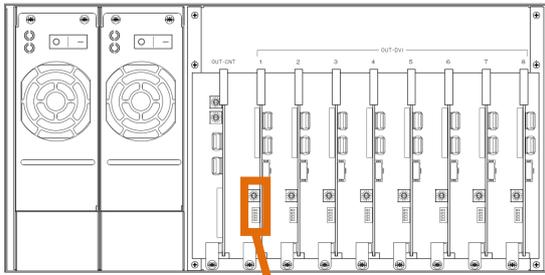
DVI 基板 ディップスイッチ	モニター縦横比 設定	DVI 基板 ロータリースイッチ レイアウト縦横比設定	表示方式
3			
OFF	16:9	16:9	スクイーズ
		4:3	サイドパネル付加
ON	4:3	16:9	レターボックス
		4:3	フル

表4. HD-SDI の表示方式

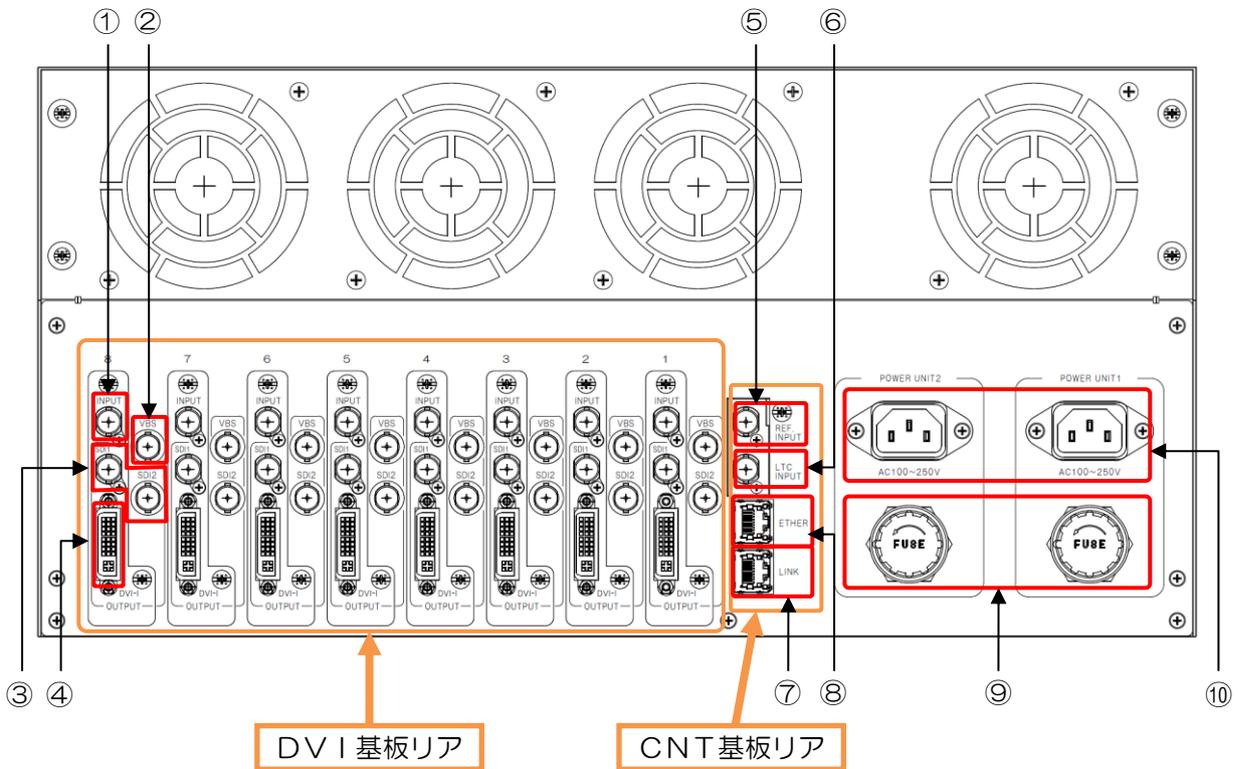
DVI 基板 ディップスイッチ	モニター縦横比 設定	DVI 基板 ロータリースイッチ レイアウト縦横比設定	表示方式
4			
OFF	16:9	16:9	フル
		4:3	— (設定しないで下さい)
ON		16:9	— (設定しないで下さい)
		4:3	サイドパネル

※1. 将来対応予定

※2. 上記以外の設定を行わないでください。



<リア>

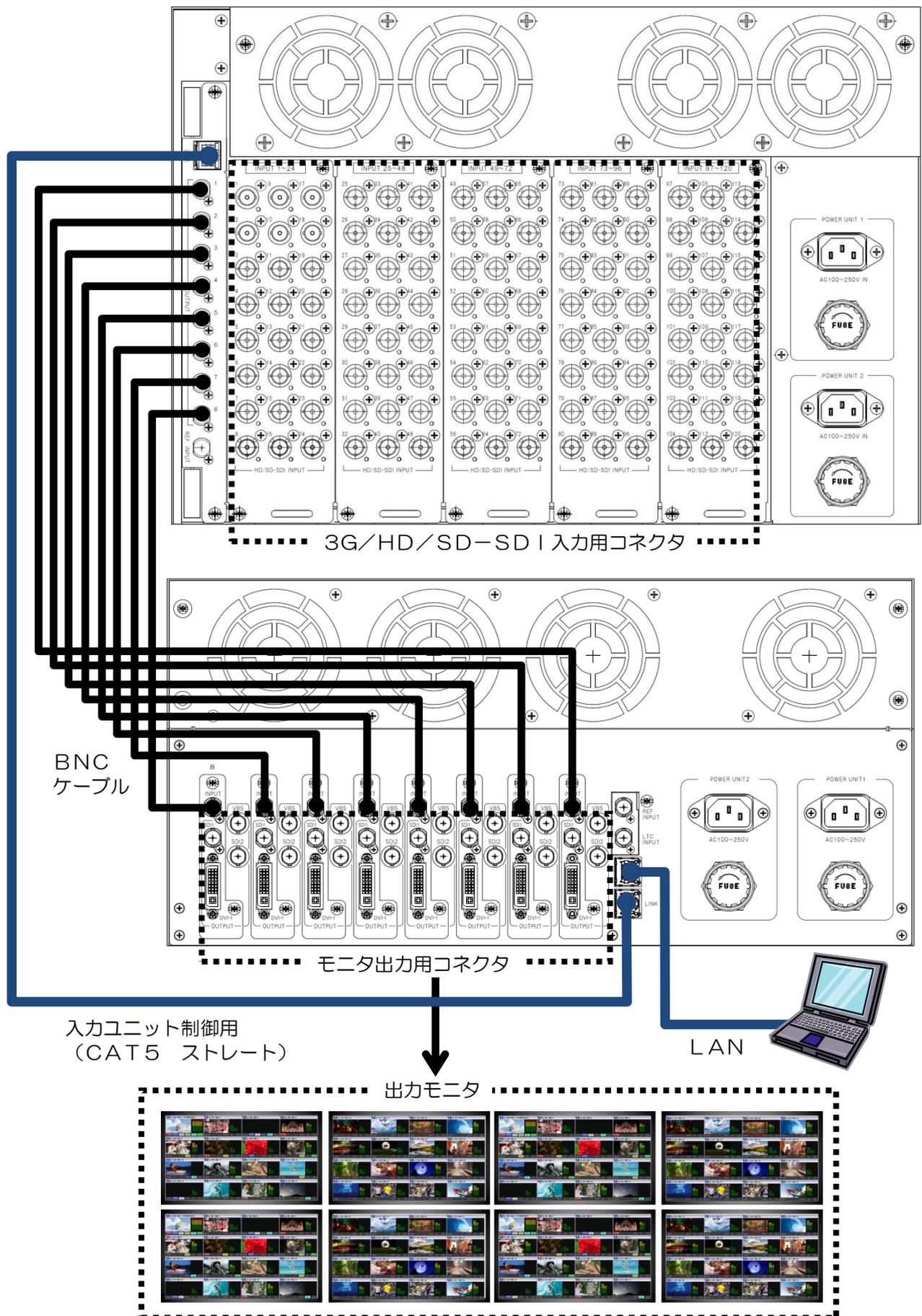


※ ①、②、③、④は、DVI 基板リア1~8共通

- ① 信号入力
3G-SDI映像信号を入力します。
入力ユニットの出力信号1～8を、DVI基板リア1～8の信号入力へそれぞれ入力します。
- ② VBS信号出力
アナログVIDEO信号を出力します。
- ③ SDI信号出力
HD-SDI信号を出力します。
- ④ DVI/RGB信号出力
最大1980×1080PのDVI信号及びRGB信号を出力します。
※ケーブル長の制限があります。
- ⑤ リファレンス入力
使用しません。接続しないでください。
- ⑥ LTC入力
LTC信号を入力します。
- ⑦ LINK
入力ユニット制御用LANインターフェイスコネクタです。
入力ユニットのLINKと接続します。
- ⑧ ETHER
外部制御用LANインターフェイスコネクタです。
ネットワークから制御する際に接続します。
- ⑨ ヒューズホルダ
ヒューズ交換時以外、触らないでください。
- ⑩ AC入力
本機の電源入力（3Pインレット）です。
電源コードは電源ユニット1，2とも接続して下さい。

4. 接続方法

◇8系統出力時の接続例を示します。



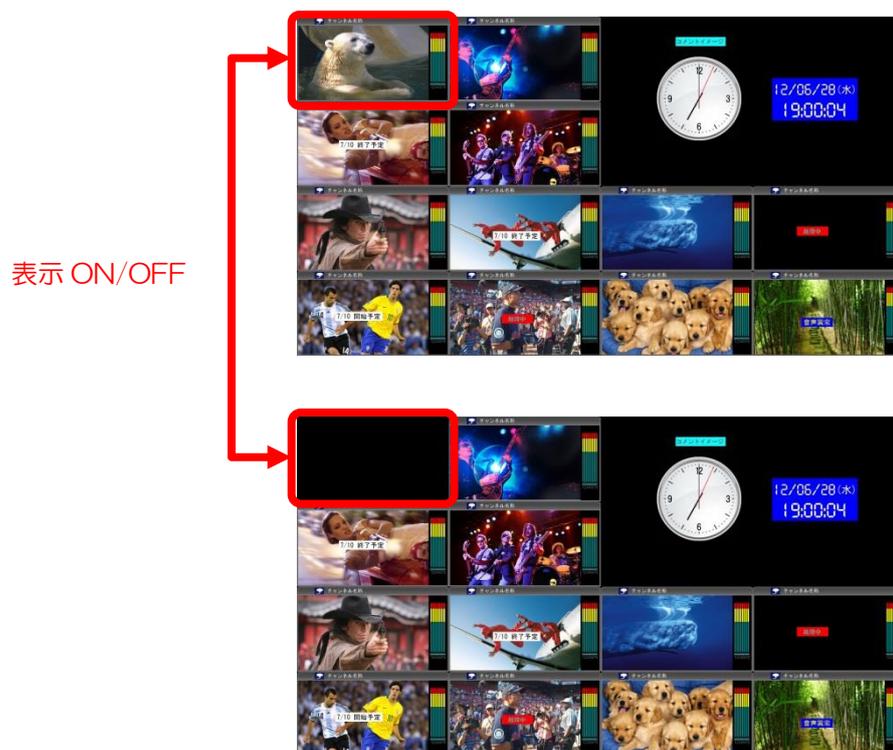
5. 設定について

5 - 1 子画面設定

- ◇設定ソフトを使用し、子画面の表示設定やレイアウトを変更することができます。
※ 設定ソフトの操作方法については、別紙設定ソフト取扱説明書をご覧ください。

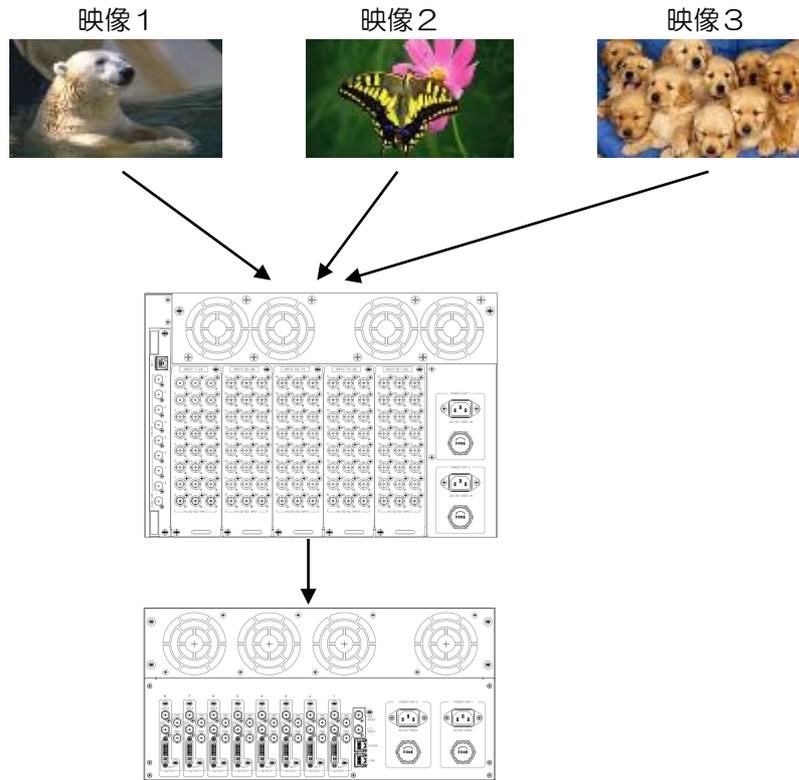
5 - 1 - 1 表示 ON/OFF

子画面の表示/非表示が設定できます。



5 - 1 - 2 Input No

入力マトリックスの設定を行い、表示する映像(1~120)を選択することができます。
Input No を変更するとチャンネル名称・ロゴも追従し変更されます。



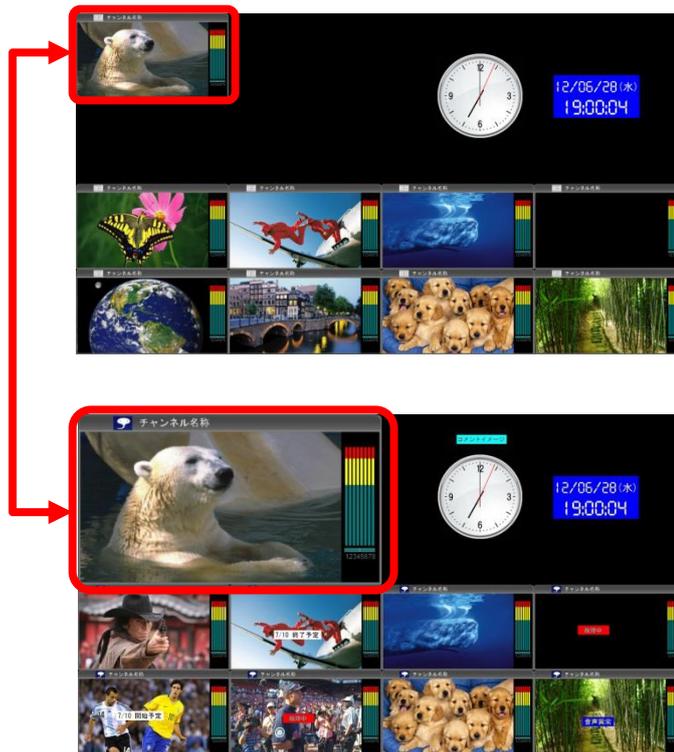
Input No を
1Ch から2Ch へ
変更



5 - 1 - 3 サイズ

サイズを1ドット単位で設定できます。

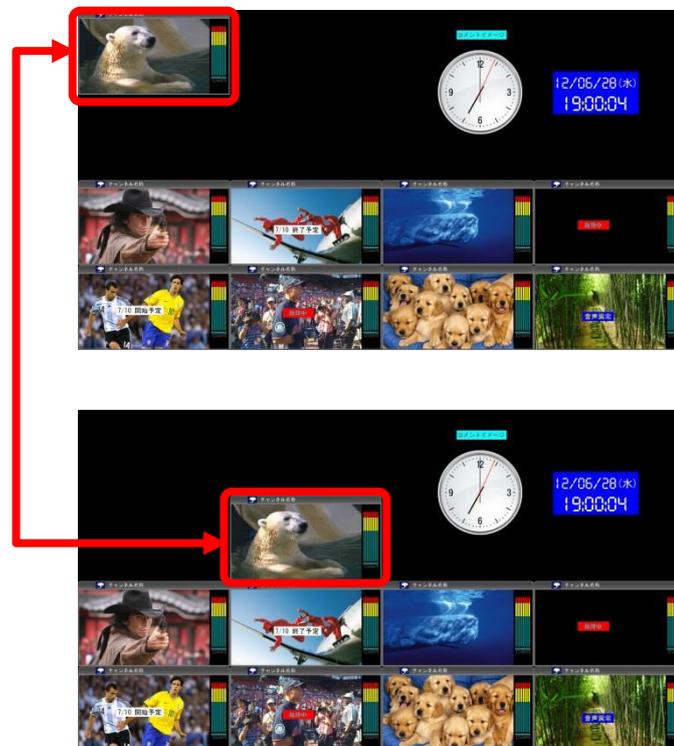
サイズ設定



5 - 1 - 4 表示位置

表示位置 (X,Y) を1ドット単位で設定できます。

表示位置設定



5 - 1 - 5 枠モード

各子画面には下図のようにノーマル、シンプル又はフルの3種類の枠モードが設定できます。

ノーマル：基本となるモードです。

シンプル：ノーマルより映像が大きく表示されるモードです。

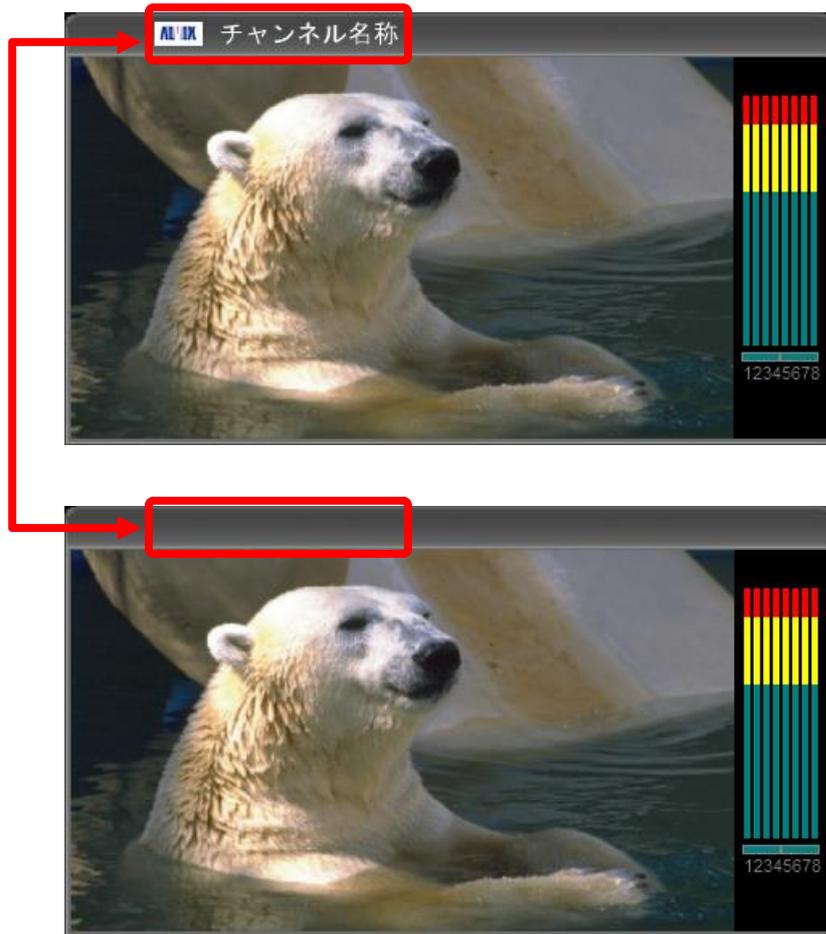
フル：オーディオバー、タイトルバーがなく、映像が子画面一面に表示されるモードです。

設定	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	

5 - 1 - 6 チャンネル名称・ロゴ 表示 ON/OFF

チャンネル名称・ロゴそれぞれの表示/非表示が設定できます。

チャンネル名称・
ロゴ表示 ON/OFF
設定



5-1-7 チャンネル名称・ロゴ 表示位置

チャンネル名称・ロゴの表示位置(上又は下)が設定できます。

- 枠モード=ノーマル

設定	表示
上	
下	

- 枠モード=シンプル

設定	表示
上	
下	

- 枠モード=フル

設定	表示
上	
下	

5 - 1 - 8 音声バー表示位置

各子画面はそれぞれ音声バーの表示位置が設定できます。
設定可能な位置は、枠モードにより以下のように異なります。

枠モード	設定可能位置
シンプル	右、左
ノーマル	右、左、左右、左右(左：奇数CH、右：偶数CH)
フル	設定無し

- 枠モード=シンプル

設定	表示
右	
左	

● 榨モード=ノーマル

設定	表示
右	
左	
左右	
左右 (左：奇数 CH、 右：偶数 CH)	

● 枠モード=フル

設定	表示
右	
左	
左右	
左右 (左：奇数 CH、 右：偶数 CH)	

表示なし



5 - 1 - 9 枠色・ブリンク

枠色を RGB 値の各色 0, 85, 170, 255 の 4 段階により設定できます。
 枠の太さを 4 ドット単位で 16 段階 (0~60 ドット) 設定できます。
 ブリンク設定により設定した枠色で点滅できます。

- 各枠モードでの枠表示イメージ (枠色 RGB 値 [255,0,0] 設定)

枠モード	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	

- 枠太さ設定イメージ
(子画面サイズ：480x270、シンプルモード、枠色 RGB 値[255,0,0]設定)

枠モード	表示
4 ドット	<div data-bbox="560 232 1334 667"> <p>□ チャンネル名称</p>  </div>
12 ドット	<div data-bbox="560 680 1334 1115"> <p>□ チャンネル名称</p>  </div>
20 ドット	<div data-bbox="560 1128 1334 1563"> <p>□ チャンネル名称</p>  </div>

5 - 1 - 1 0 BASE 色・ブリンク

BASE 色(音声バーの背景色)を RGB 値の各色 0, 85, 170, 255 の 4 段階により設定
できます。

ブリンク設定により設定した BASE 色で点滅できます。

- 各枠モードでの BASE 表示イメージ (BASE 色 RGB 値[0,85,255]設定)

枠モード	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	—

5 - 1 - 1 1 サブインジケータ

タイトルバーの両サイドにサブインジケータの表示ができます。
 左右のサブインジケータそれぞれに対し表示 ON/OFF 及び色を RGB 値の各色 0, 85, 170, 255 の 4 段階により設定ができます。

サブインジケータ表示イメージ (RGB 値 左[0,255,255]、右[255,0,255])

枠モード	表示
ノーマル	
シンプル	
フル	

5 - 1 - 1 2 アスペクト設定

出力映像のアスペクト比（16：9又は4：3）が設定できます。

設定	表示
16：9	
4：3	

5 - 1 - 1 3 サブアスペクト設定

「5-1-12 アスペクト設定」の設定と入力映像のアスペクト比が一致しない場合の映像の表示方法が設定できます。

- アスペクト設定=16：9、入力映像=4：3

設定	表示
スクイーズ	
サイドパネル	

- アスペクト設定=4:3、入力映像=16:9

設定	表示
レターボックス	
サイドカット	

5 - 2 チャンネル名称・ロゴ設定

1～120の各入力映像にそれぞれチャンネル名称及びチャンネルロゴが設定できます。設定されたチャンネル名称・ロゴは子画面のチャンネル名称・ロゴが表示設定時にタトルバーに表示されます。

チャンネル名称にはテキストが表示でき、ロゴには画像(下イメージ参照)が登録できます。チャンネル名称・ロゴはそれぞれ入力 Ch に紐づきます。

子画面の Input No を変更するとそれに追従してチャンネル名称・ロゴの表示も変更されます。

チャンネル名称・ロゴの表示イメージ



5 - 3 時計設定

5 - 3 - 1 アナログ時計

レイアウト毎に1つのアナログ時計が表示できます。

アナログ時計イメージ



5-3-1-1 表示 ON/OFF

表示/非表示が設定できます。

5-3-1-2 表示選択

表示する時刻を LTC 入力と MV 内部で選択できます。

5-3-1-3 表示位置

表示位置 (X,Y) を 1 ドット単位で設定できます。

5-3-1-4 サイズ

サイズを以下の 5 段階で設定できます。

216 × 216

270 × 270

360 × 360

432 × 432

540 × 540

5-3-2 デジタル時計

レイアウト毎に1つのデジタル時計が表示できます。

デジタル時計イメージ



5-3-2-1 表示 ON/OFF

表示/非表示が設定できます。

5-3-2-2 表示選択

表示する時刻を LTC 入力と MV 内部時計で選択できます。

5-3-2-3 表示位置

表示位置 (X,Y) を 1 ドット単位で設定できます。

5-3-2-4 サイズ

サイズを以下の 5 段階で設定できます。

216 × 108

270 × 135

360 × 180

432 × 216

540 × 270

5-3-2-5 文字色・背景色

文字色及び背景色を RGB 値の各色 1~255 により設定できます。

5-4 コメントウィンドウ設定

- ・ 出力コメントウィンドウと入力コメントウィンドウ機能を持ちます。
- ・ 出力コメントウィンドウはレイアウト毎（レイアウト1～8）に160個のコメントウィンドウが表示できます。
- ・ 入力コメントウィンドウは入力毎（Input No.1～No.120）に最大6個のコメントウィンドウが表示できます。

各部名称

以下にコメントウィンドウの各部名称を記載します。



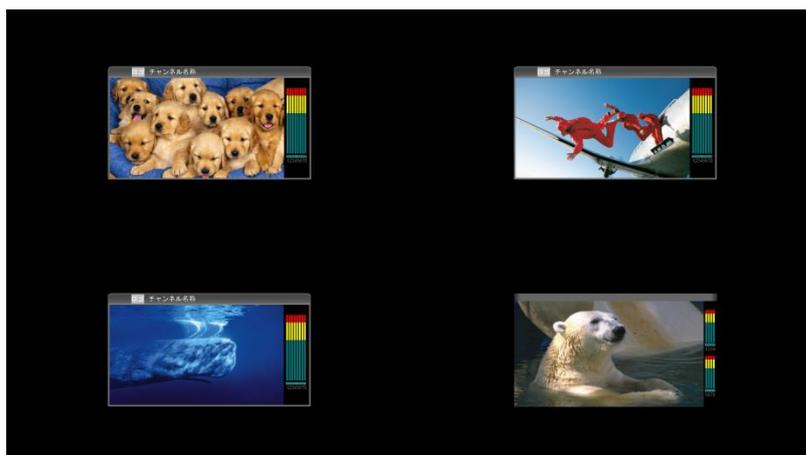
- ① 文字
- ② マット
- ③ 枠

使用例

コメントウィンドウの使用例を記載します。

下図にコメントウィンドウを使用した場合のイメージを記載します。

下図では4つのコメントウィンドウを表示しており、最大160個まで表示出来ます。



コメントウィンドウ無しのレイアウトイメージ

コメントウィンドウ追加



コメントウィンドウ設定時のレイアウトイメージ

① 通常使用例



コメントウィンドウは任意の文字を画面上自由に任意の大きさに配置出来ます。

② タリーの様に表示出来ます。



コメントウィンドウは背景色が設定でき、文字を空白のみにすることでタリーの様に表示できます。

③ 枠の様に表示出来ます。



コメントウィンドウは透過率が設定でき、枠サイズも設定できるため、枠の様に表示出来ます。

設定：マット色：不問、マット透過：100%、枠色：赤、枠透過：0%

- ④ チャンネル名称の様に表示出来ます。



コメントウィンドウを子画面の上部等に配置し、チャンネル名称の様に表示出来ます。テキストは最大1000個のパターンを登録でき、コメントウィンドウ毎にパターンを選択できます。

コメントウィンドウの文字は選択しているパターンを変更するだけで変更出来ます。

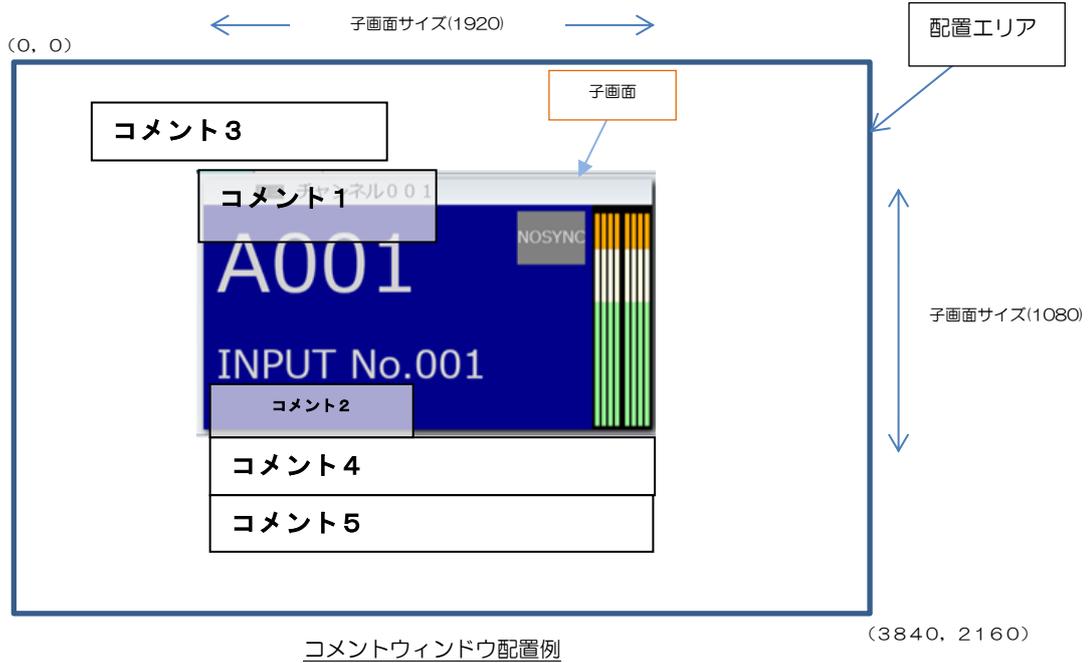


パターン変更

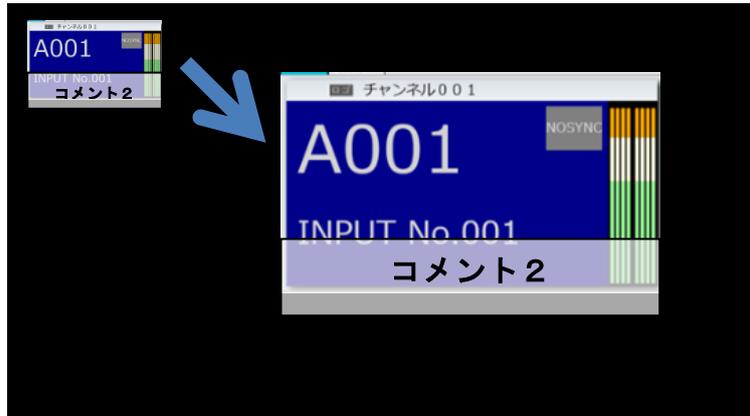


入力コメントウィンドウは、下図の様に、子画面に関連して配置し表示します。

子画面のサイズを1920×1080として、入力コメントウィンドウを配置します。
配置エリアは、H: 0000 ~ 3840 / V:0000 ~ 2160
例)「コメント1」の位置=H:960,V:540 サイズ=H:50%(960),V:25%(270)



入力コメントウィンドウは子画面のサイズに合わせて、自動でリサイズします。
子画面のサイズが小さくなるにつれ表示できなくなる場合があります。



5 - 4 - 1 設定項目

コメントウィンドウデータ、コメントパターンの設定項目の概要を以下に記載します。
設定詳細は外部制御仕様を参照下さい。

コメントウィンドウデータ設定項目

No	項目名	項目内容
1	表示/非表示	表示/非表示設定です。
2	マット X ポジション マット Y ポジション	表示位置です。
3	マット幅 マット高さ	表示サイズです。
4	マット色	
5	マット透過率	背景色の透過率です。
6	枠サイズ	枠の太さです。
7	枠色	
8	枠透過率	枠の透過率です。
9	コメントパターン ID	紐づくコメントパターン ID です。
10	文字サイズ	文字サイズです。
11	配置上下、配置左右	文字の配置位置です。
12	マット Blink	マットの点滅です。
13	枠 Blink	枠の点滅です。
14	文字 Blink	文字の点滅です。

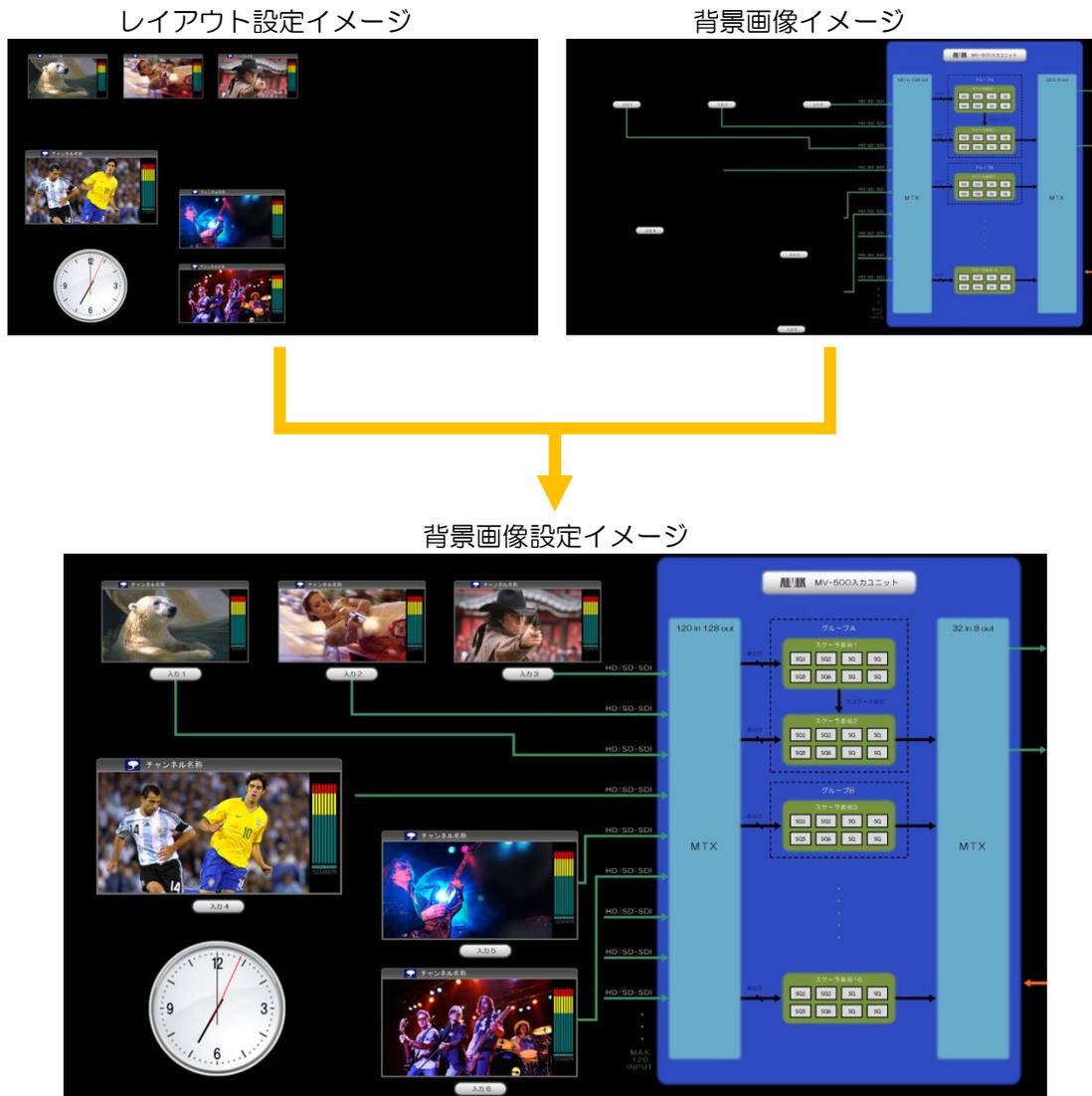
コメントパターン設定項目

No	項目名	項目内容
1	コメントパターン ID	コメントパターンのキーとなる ID です。 本項目は変更出来ません
2	文字色	文字色です。
3	文字エッジ幅	文字のエッジ幅です。
4	文字エッジ色	文字のエッジ色です。
5	フォント	文字のフォントです。
6	文字	文字の内容です。

5 - 5 背景設定

レイアウト毎に背景画像を登録・表示できます。

背景画像表示イメージ

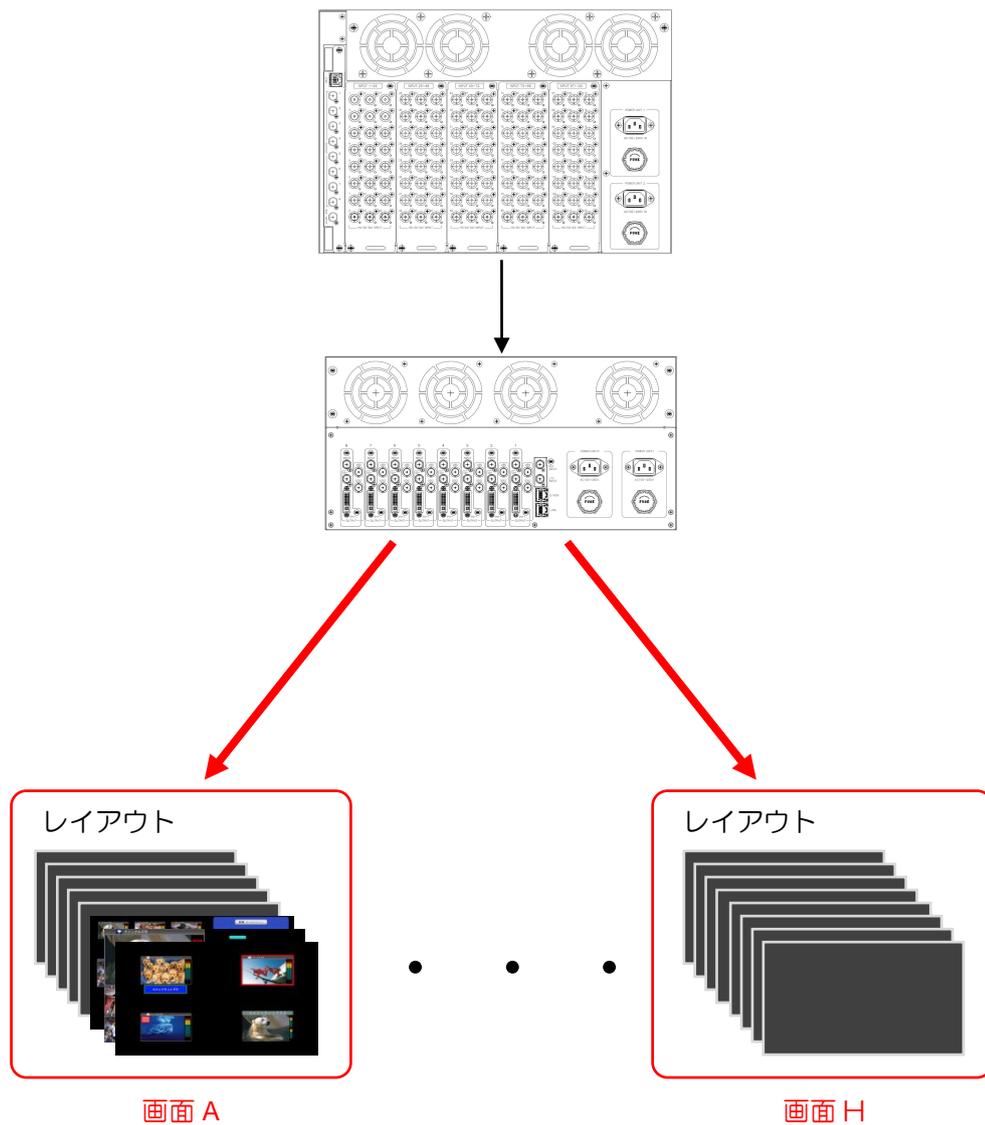


5 - 5 - 1 表示 ON/OFF

背景画像の表示/非表示が設定できます。

5 - 6 レイアウト設定

出力毎に 8 個のレイアウトが設定出来ます。



お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038